

## 試験研究（中間）評価整理表

試験研究機関名 内水面水産試験場

所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	豊かで魅力ある水産業の振興	水産資源の持続的利用技術の開発	ヒメマス増殖技術の開発	ヒメマスの資源及び漁場環境をモニタリングし、適正な漁獲(漁業・遊漁)、放流方法の検討を行い、安定生産に向けた提言をする。	ヒメマスの加入(放流)量、漁獲量、漁場環境(餌料生物、水質等)調査を実施する。これまで、全長別漁獲尾数、成長(満1歳まで)、放流状況について明らかにした。今後、成長に関する部分、漁獲量、漁場環境調査、漁業実態から資源状況を把握する。	H18	H22	B	適正な漁獲、放流方法を検討するためには資源の現状把握、漁場環境の把握が欠かせないことから引き続き調査を実施するべきである。	着実に到達目標を成し遂げるよう期待する。
2	豊かで魅力ある水産業の振興	農林水産物の高品質化と一層の省力・低コスト生産のための技術開発	フナ粗放養殖技術の開発	フナ放流用種苗を県内で安定生産するために、親魚養成、採卵、種苗生産技術の向上を図る。	養殖業者ため池、休耕田ため池のフナ生産状況の聞き取り調査と場内試験池での種苗生産試験を実施した。今後、親魚養成および採卵、種苗生産試験を実施する。	H18	H22	B	フナ放流種苗の県内安定生産のために種苗生産技術の効率化、採卵用親魚の養成方法を確立する必要がある。	他の養魚では確立されているテーマだと思しますので着実に到達目標を成し遂げるよう期待する。